

加茂市



# 議会だより

第145号

平成17年4月30日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

[gikaijimu@city.kamo.niigata.jp](mailto:gikaijimu@city.kamo.niigata.jp)



主な内容

平成17年度予算を可決 …… (2)

市営市民バス条例の改正など決まる … (3)

常任委員会の審査から …… (3)

11人が一般質問に登壇 …… (4)

社会保障制度の抜本改革など採択 … (7)

## 戸締り用心・ 火の用心

第39回雪椿まつり市中パレードより  
(4月17日)

# 平成17年度予算決まる

## 予算総額 一般会計8.2%減 232億円

予算議会ともいわれる3月定例市議会は、8日に招集され24日まで会期17日間で開かれました。この定例会では、総額232億円となる平成17年度一般会計・特別会計予算と水道事業会計予算をはじめ、条例の改正など市長提出議案37件を慎重に審議の結果、すべて承認、原案可決、同意しました。また、議員提出の条例1件、意見書8件を原案可決し、意見書は関係機関へ提出しました。

市長は施政方針演説で「市民のアイデアに基づく市政により、日本のトップクラスの福祉のまち、日本で最も商工業と農業が守られているまちとなりました。平成17年度予算は、『極端な地方切り捨ての暗黒時代を悠々と乗り切る予算』であります。また、本年度は、新潟国体に備えた体操トレーニングセンターを完成し、民主的市政を推進し市政の水準を高め、小京都加茂市は、燦然と輝く未来に向かって、力強く歩んで行きたい。」と決意を述べました。平成16年度の一一般会計と六特別会計を合わせた予算の総額は二百三十一億七千四百円で、前年度より三・二%の減となりました。

**一般会計** 予算規模は百二十八億七千万円で、前年度より八・二%の減となっています。歳出の主なものは、民生費が二十九億四千五百五十三万三千円で、全体の二二・九%を占め一番多く、次いで商工費が二十七億九千二百三十四万四千円で、

全体の二一・七%などとなっています。主な建設事業は、ほ場整備事業費(吉津川地区外)一億八百万円、街路事業(根古屋中央線外)三千万円、二万年前旧石器公園整備事業費二千六百五十万円などです。

**国保特別会計** 予算の総額は、八千六百五十二万二千円で、前年度より八・七%の増となっています。

歳出の主な内容は、保険給付費十七億七千九百六十四円、老人保健拠出金五億三千五百六十三万五千円などです。

**老人保健特別会計** 歳出の主な内容は、医療諸費三十億二千九百二十二万円で、予算の総額は、三十億四千六百五十二万四千円で、前年度より〇・五%の増となっています。

**下水道特別会計** 管渠整備を進めるとともに、水洗化の普及促進に努めます。予算の総額は、前年度より六・四%増の二十億四千九百九十一万二千円です。

**介護保険特別会計** 歳出の主な内容は、保険給付費十七億九千四百九十九万九千九百九十九円などで、予算の総額は、前年度より二・五%増の十八億三千七百六十七万二千円です。

**在宅介護サービス特別会計** 歳出の主な内容は、訪問介護事業費二億二千二百七十二万一千円、通所介護事業費一億二千七百六十三万四千円などで、予算の総額は、前年度より一・三%減の四億二千四百五十四万七千円です。

**宅造特別会計** 主な内容は、住宅団地造成に伴う用地購入費、工事費などで、予算の総額は、三億六千八百六十五万六千円です。

**水道事業会計** 収益的収支では、六千七百

区分	予算額	伸率
	千円	%
一 般 会 計	12,870,000	△8.2
特 別 会 計	国民健康保険	2,586,052 8.7
	老人保健	3,046,524 0.5
	宅地造成事業	368,656 0.4
	下水道事業	2,041,091 6.4
	介護保険	1,837,601 2.5
	在宅介護サービス	424,547 △1.3
合 計	23,174,471	△3.2
水 道 事 業 会 計	783,719	3.2

### 4月臨時会

四月二十五日に臨時市議会が開かれました。市長から提出された議案は、条例の一部改正など十件で、承認・原案可決されました。



### 定例会日程

8日	本会議・全員協議会
9日	本会議
10日	本会議
11日	連合審査会・全員協議会
14日	産業建設常任委員会
15日	産業建設常任委員会
16日	社会厚生常任委員会
17日	社会厚生常任委員会
18日	総務文教常任委員会
22日	総務文教常任委員会
24日	本会議

# 市営市民バス条例改正など決まる

平成十七年度の各会計当初予算を除く市長提出議案の主な内容は、次のとおりです。

## 条例改正

特別職の職員  
給与に関する条例、  
職員給与に関する条例、教育  
委員会教育長の給与及び勤務時  
間等に関する条例、水道企業職  
員の給与の種類及び基準に関す  
る条例、職員の勤務時間、休暇  
等に関する条例は、人事院勧告  
及び法律改正に伴い所要の改正  
をするものです。

国民健康保健税条例は、介護  
保険負担額の改定に伴い、軽減  
額の改定をするものです。  
市営市民バス条例は、路線の  
増設をするものです。

## 十七年度補正予算

一般会  
計の小学

校費スクールバス運営費百八十  
五万円を増額し、予算の総額を  
百二十八億七千八百八十五万円と  
するものです。

## 十六年度補正予算

一般会  
計は、八

千六百三十四万七千円を増額し、  
予算の総額を百四十六億二千六  
百三十一万三千円とするもの  
です。

歳出の主な内容は、退職手当  
二千九百二十六万二千円、災害  
関連地域防災がけ崩れ対策事業

費二千四百六十万円などを増額  
し、長期債利子償還金八百二十  
五万三千円などを減額するもの  
です。

特別会計では、国民健康保険  
は保険給付費四千二十九万三千  
円を増額するものです。

老人保健は医療諸費七千四百  
万円を増額するものです。

下水道事業は、継続費の雨水  
排水ポンプ場建設事業費の総額  
等を変更するものです。

介護保険は医療給付費四千五  
百万円を増額するものです。

在宅介護サービス事業は、一  
般会計繰出金二千万円を増額す  
るものです。

## 規約の変更等

三市南蒲地  
域視聴覚教育

協議会を組織する地方公共団体  
の数の増減及び規約の変更は、  
市の設置等に伴い行うものです。

下水道事業に係る汚泥処理施  
設等の建設及び維持管理に関す  
る事務の委託の廃止・委託は、  
市町村合併に伴い行うものです。

新潟県中越福祉事務組合を組  
織する地方公共団体の数の増減  
及び規約の変更並びに県央広域  
市町村圏協議会を組織する地方

公共団体の数の増減及び規約の  
変更は、市の加入等に伴い行う  
ものです。

県央土地開発公社定款の変更  
は、町村の脱退により行うもの  
です。

## 市道路線

地元の要望によ  
り、市道路線の交  
更をするものです。

## 斎藤収入役再任に同意

人事  
定例会最終日の本  
会議で、三月三十一  
日に任期満了となる収入役に、  
齋藤 保氏（大郷町、62歳）の  
再任を同意しました。

# 委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案、請願は、3月  
14日から22日の間に各常任委員会を開いて慎重に  
審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は採  
択すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告さ  
れました。

## 産業建設常任委員会

三月十四日と十五日の両日委  
員会を開催し、市道路線の変更  
の現地視察を行った後、下水道  
事業特別会計予算など付託され  
た議案十件について、それぞれ  
説明を受け慎重に審査した結果、  
一般会計予算のうち所管の部分  
を除く九件については、特に意  
見・要望を付すこともなく、い  
ずれも全会一致で原案可決すべ  
きものと決定しました。

## 社会厚生常任委員会

三月十六日と十七日の両日委  
員会を開催し、市営市民バス条  
例の改正など付託された議案十  
三件について、それぞれ説明を  
受け慎重に審査した結果、一般  
会計予算のうち所管の部分を除  
く十二件については、特に意見・  
要望を付すこともなく、いずれ  
も全会一致で原案可決すべきも  
と決定しました。

の決定しました。  
また、一般会計予算のうち所  
管の部分については、質疑、討  
論がなされ、起立採決の結果、  
原案可決すべきものと決定しま  
した。

なお、社会保障制度の抜本改  
革を求める請願など二件につい  
ては、紹介議員の説明の後、審  
査を行い、いずれも趣旨妥当と  
して、全会一致で採択すべきも  
のと決定しました。

## 総務文教常任委員会

三月十八日と二十二日の両日  
委員会を開催し、一般会計予算  
など議案十三件について、それ  
ぞれ説明を受け慎重に審査した  
結果、一般会計予算のうち所管  
の部分を除く十二件については、  
特に意見・要望を付すこともな  
く、いずれも全会一致で原案可  
決すべきものと決定しました。

また、一般会計予算のうち所  
管の部分については、質疑、討  
論がなされ、起立採決の結果、  
原案可決すべきものと決定しま  
した。

なお、定率減税の廃止・縮小  
を中止することを求める請願な  
ど三件については、紹介議員の  
説明の後、審査を行い、趣旨妥  
当として、全会一致で採択すべ  
きものと決定しました。

### 特別職及び職員の給与について

政友クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① 加茂市の議員の報酬は全国及び県内でのようなランクにあるか。

② 次に市の三役の給与についてはどのようなように考えているか。

③ 昨年末に県は、二〇〇四年四月一日現在の県内市町村の職員の給与水準をあらわすラ

スパイレス指数を公開した。加茂市は九八・六で、新潟市、長岡市について三番目となっている。市民感情として受け入れられないと思うが、市長の考えを聞きたい。また、職員互助会補助金の補助割合を聞きたい。

答弁 ① 加茂市議会議員の報酬は、平成十五年十二月末現在で全国市議会議長会が調査し公

### 市政の内容を聞く

## 一般質問

三月定例会では初日から十一人の議員が

一般質問を行い市政

全般についての質問や

執行状況を聞いたた

めました。その要点

をお知らせします。



3月定例会本会議

表しているが、全国六八五市中、議長は六五三位、副議長が六六六位、議員が六六三位と、極めて低く、県内においては真ん中より少し低いところにある。② 三役の報酬については、平成十七年二月末現在、県内二十三中、市長、助役、収入役ともに十六位で、相当低いところにある。

は、市民感情もあることから、平成十六年度において合理的に下げたところはあるが、下げる措置を一気に行った。まず職員の五十五歳昇給停止と昇格基準の見直し、併せて特別昇給の凍結を行うこととした。また、退職時の二階級昇給措置のとりやめである。

### 加茂市の産業の活性化と人口減少の対策について

政友クラブ 高井 保 議員

質問 ① 市長は、加茂市の生き残り策の一つとして、職員採用を最低限に控え、人件費を節約して何とか乗り切られると言っているが、一市民として不安が頭の中をよぎる。今このまちな

も必死になって、地域の再生、発展に住民ともども骨身を削りながら、取り組みが行われている

料展示やまちの美術愛好家の展示所にしたらどうか。

答弁 ① 私が市長に就任してから多くの企業が加茂に進出し、これは海外に打って出ようかとしているときでもある。加茂市としては、今までの路線を進めてゆくのみであると考えている。

② 人口減少問題は、国全体の趨勢であり、国家の責任である。しかし、市としても新年度に新たに不妊治療に対する助成制度を設けるなど努力している。

③ 法務局加茂出張所の建物を二十五万円で購入する補正予算を計上した。取得後の有効利用については、十分検討したい。

④ 市役所のレストラン棟は、職員の昼食及び休憩場の他、区長会議、環境衛生協議会等の各種会議や打ち合わせに多目的に十分有効利用している。

### 加茂市の安全と安心について

市政クラブ 山田義栄 議員

質問 ① 市民の安全と安心の観点から、まず、下条川左岸排水ポンプの設置について、今後の見直しについて伺う。

② 現在市道下条陣ヶ峰線と下松排水路との交差点に排水の管が埋設されているが、吉津川圃場整備の面工事が進んでくると、今後この部分について検討が必要となるがどうか。

③ 横江地区内に水田約五十アールがあるが、今後この土地が宅地造成された場合の対策を考えているかどうか。

④ 災害時の避難場所について看板等が必要と考えるがどうか。

⑤ 米政策改革による水田農業の構造改革について、加茂市の支援策等を聞きたい。

答弁 ① 下条川左岸地区の雨

詳しくは会議録で三月定例会の会議録は、五月下旬に発行予定です。議会図書室、図書館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、各コミュニティセンター、新潟経営大学図書館でらんくください。なお視察報告についても、会議録と同じ場所でもらんください。また、視察報告は、市議会ホームページでもらんくなります。

水排水ポンプ場については、工事費が十五億円かかり、当分の間仮設ポンプで対応したい。

② 国道四〇三号線から上流部の興野向、福島地区の幹線水路の整備についても、多額の経費が見込まれ、現在の財政状況では困難である。当分の間は仮設ポンプで対応したい。

③ 横江地区の水田がすべて宅地になった場合でも、主要な管渠及び雨水排水ポンプ場の施設計画は十分な規模、構造となっている。

④ 災害時の避難場所の周知方法については、防災計画に盛り込むべく検討していきたい。

⑤ 加茂市の取り組みはこれからであり、JAにいがた南蒲の具体的な取り組み状況を見ながら、どのような支援ができるのか検討していきたい。

### 市民福祉交流センター費について

市民党市民連合 大関勝正 議員

質問 ① 市民福祉交流センター費について伺いたい。

・平成十七年度の収支の見通しについて。

・平成十六年度の入館者数、収支を含む決算見込みについて。

・平成十七年度の予算に人件費が計上されていない理由。

・現在の具体的な湯量はどうか。

・温泉井戸清掃費として一千四百万円、修繕料として、三百四十七千円を計上しているが、具体的な工事内容を伺う。

② 平成十六年度の道路新設改良・河川・水路新設改良事業のうち、市の単独事業の執行見通しについて伺う。

答弁 ① 平成十七年度の収支は三千四百七十八万三千円の赤字を見込んでいる。

・平成十六年度の入館者数は二月までの実績で十六万二千三百五十一人、収支は、職員人件費を除くと九百万円ほどのプラスを含めると千八百万円ほどのマイナスとなると見込んでいる。

・職員人件費がなくなった理由は課条例を改正したことによる。

・現在湯湯量毎分三十リットルである。

・温泉井戸清掃費は、ケーシング管内のスケールの固着状況の

確認・検査・除去・掘削等、原状に復する経費であり、修繕料は除ける過装置などに故障が生じた場合に要する経費である。

### 加茂市の文化・芸術について

市政クラブ 森山一理 議員

質問 ① 加茂文化会館で三日前に予約が入らない場合、地元音楽バンドに格安料金で空いている部屋を提供できないか。

② 地元商店街と提携し、主催事業のチケットの半券で提携店のサービスを受けられる提携店制度を導入してはどうかか。

③ 加茂文化会館も小出郷文化会館と同様にできぬ率のよい三つの料金区分にできないか。

④ 市民広場でのアルコールを含む使用はできないか。

⑤ 公募による「文化会館企画委員会」なるものの設置を望む。

⑥ 市内の空き店舗を利用した加茂市出身芸術家の常設展示場の設置を強く望む。

答弁 ① 加茂文化会館では会場利用の申し込みは七日前となっている。ただし、直前の急な申請場を提供している。

② 財政が好転するまではほんの少しづつしかできないが、すべての工事を三月末までに完了したいと考えている。

③ し込みにも柔軟に対応している。予約がないから格安料金で空いている部屋を提供することは公平を欠くと思われる。

④ 入場券の半券提示でサービスが受けられる提携店制度は、加茂においてなじむものかどうか検討を要する。

⑤ 使用料の三段階の細分化の見直しの提案については、加茂文化会館と小出郷文化会館では建物のつくりが違うので同じようにはならない。

⑥ 公共施設で一箇所くらい飲酒しない場所があってもよい。

⑦ 委員の公募は適当ではないと思っている。

⑧ 市内には、私設のギャラリーがあり、また市としても中央コミュニティセンター等に発表の場を提供している。

### 加茂市繁栄の道に新たな指針を

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 「加茂市」の命名起源の認識を全市民が共有していくことも必要と考えるがどうか。

② 良寛様が加茂山の杉を詠んだり、文化会館には掛け軸も展示されているので、良寛の道をつくる考えはないか。また、二

① 「加茂市」の命名起源の認識を全市民が共有していくことも必要と考えるがどうか。

② 良寛様が加茂山の杉を詠んだり、文化会館には掛け軸も展示されているので、良寛の道をつくる考えはないか。また、二

③ 市企業で国外向けの可能性をもつ産業の育成、また、「加茂ブランド」の開発の取り組みなど産業振興の方針を伺う。

④ 加茂病院の充実運動と合わ

せて、在宅医療センターの創設を県に働きかけることや、医療福祉ともに田上町と協業化を図ることについて見解を求めめる。

### 二〇〇七年問題と障害者福祉の充実について

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① 少年高齢化社会対策はもっとも重要で難しい社会問題であるが当局の考えを尋ねる。

② 加茂市も二〇〇七年に大量に定年退職者を抱えているが、二〇一〇年までの三年間の具体的な現状と対策について尋ねる。

③ 長年会社や企業を支えてきた団塊の世代の活力あるベテラン社員や職員の喪失をどの様にフォローしていくのか。また今後、中高年の力をどの様に活用していくのか所見を聞きたい。

④ 学習障害や注意欠陥多動性障害の方への支援についての今後の取り組みを尋ねる。また、知的障害者と精神障害者についての現状と課題について尋ねる。

答弁 ① 少年高齢化は避けて通れない社会問題で、国が責任を持った政策の対処をすべき問題であると考えている。

② 加茂市役所プロパーの退職者は、平成十八年度は九名で退職金は二億二千二百万円、十九年度は十二名で退職金は三億三百万円、二十年度は十一名で退職金は約二億七千二百万円、二十一年度は十五名で退職金は約三億五千七百万円となっている。対策としては、少なくとも五年間くらいは原則毎年一人採用で様子を見ながら行くことになる。

③ 市役所で大量の退職者が出ても、官僚組織においてノウハウが失われることはない。

④ 障害を持っていて児童生徒の一人一人のニーズに応じた教育支援に努める。また、安心して暮らしていけるよう市として精一杯の支援をしてまいりたい。

ることができるような公園にしたいと考えている。

③ 中小企業庁のジャパンブランド育成事業に、桐たんすを初め和洋家具、建具、屏風の木工製品について、事業採択に向けて申請の準備をしている。

④ 現時点で加茂病院に在宅医療センターの創設を働きかける必要はないと考えている。

また、福祉をほかの町と共同事業にすると加茂市の介護の水準は一気に落ちることになる。

### 新年度予算と行政改革について

無所属 田沢弘一 議員

質問 ① 新年度予算は、国の地方交付税削減政策等の影響で、苦心の予算編成であったことが窺える。そして、今後一、二年の短期的な市財政の見通しについて、市長の見解を伺う。

② 市職員の給与について、まず五十五歳以上の昇給停止の実施と、定年及び勲褒退職者の特別昇給制度が今年度から廃止すると聞いているがその理由と職員組合と交渉を持ったのか聞きたい。また、時間外手当が前年に比べ減っているが見解を伺う。

③ 行政改革の検討を実施し市民に明らかにすることを望む。  
答弁 ① 短期的な市財政の見通しについては、平成十八年度という団塊の世代の退職の始まる年から、毎年一名採用し、あとは不補充とする方針をとる最初の年度である。市政の水準を維持する場合でも、貯金の目減りは五億円位まで下がるが、平成二十二年ごろにはとまり、それからを着実に増えていく。  
② いずれも国の指示もあり、財政の事情もあり、国の指示に従わざるを得なくなった。市職労には伝えてある。また、時間外手当の減額も残念ながら減額

せざるを得ない状況である。  
③ 行政改革とは、佐藤内閣に始まり、以来、公務員の年金の改悪となり、民間の年金の改悪

### 平成十七年度の道路事業関係予算等について

日本共産党 大桃一明 議員

質問 ① 平成十七年度予算の中で稲荷面横線事業は三十億円が事業予算化されているが、いまだ事業の完了が明確にされていない、本事業実施計画の工事完了はいつになるのか問う。

② 下条陣ヶ峰線は平成十六年度から、黒水土倉線は十七年度より予算計上がなされていない。中止したのであれば、事業中止の理由を明確にしてほしい。

③ 西小学校建設については、市長は建て替えを常に念頭におくとして十年が間もなく来ようとしている。市長の考えを問う。

④ 知的障害者施設建設についても、十年になろうとしている。具体的にこの計画を一日も早く市民に明らかにすることを問う。  
答弁 ① 稲荷面横線事業は平成七年度から着手し、延長七百

につながら、小泉内閣による構造改革と称するもろもろの有意義な秩序の破壊につながってきた。

② 下条陣ヶ峰線は財政状況等から休工をやむを得ないと判断した。黒水土倉線は百四十億円を完成させ、随分よくなったのでこの辺で休工したい。

③ 西小学校建設については、現在着手することは困難であるが、財政的に可能な時期が来たら実施すべきと考えている。

④ 知的障害者援護施設については既に用地は確保しており、あとは建設であるが、いずれは実現すると思うし、実現させなければならぬと思っている。

### 加茂市木工産業復興へ、木工製品の加茂ブランド確立を

市政クラブ 高橋禮雄 議員

質問 ① 平成十七年度にジャパンブランド育成事業が加茂市において展開されるが、質問と提案をしたい。質問事項はまず・この事業で対象となる製品は木工製品しかないのであるか。  
・事業主体と加茂市のかかわり

はどのようなものか。  
・対象となる産業界の体制は整っているのかどうか。また、どのような事業に取り組むのか。  
・次の提案について尋ねる。  
・市の木工製品は県産の優良木材を使用し、産地表示を行う。

・桐・杉など量産材を加茂市において生産する。  
・伝統技術者の活用と後継者の育成に力を入れ、また市内の空き店舗を利用して製造が見学出来る施設の設置を望む。

① 商工会議所が中心となつて、業界ではたんす組合が中心となり、和洋家具、建具、屏風の各組合が参画連携して、十七年度事業採択に向けて、中小企業庁へ申請の準備を進めている。事業費は二千五百万円で、旅

費等対象外の費用については、加茂市が五百万円補助したい。本プロジェクトの推進にあたっては、ジェットロ、日本貿易振興機構の支援も受けて、今後は実行委員会を立ち上げ、委員には、いいた産業総合機構や市の商工観光課からも委員に参加し、よりよいものを目指す計画となっている。

② 議員の提案はこの事業が採択されて、たんすが海外で愛用されるようになったときに参考になるものと考えている。

### 市長の施政方針とその理念について

社民党市民連合 星野昭吾 議員

質問 ① 十七年度の施政方針の中には、イラク派兵反対や憲法改正の動きに警鐘をならし、護憲の大切さを訴えていることは評価できる。また、加茂市非核平和都市宣言も共鳴できる。しかし、大半は毎年同じものが繰り返されており新鮮味が欠けている。施政方針は国策に左右されるとはいえ、市民生活を守り、市民に希望と勇気を与える気高い理念があらわされるものと信じているが所見を伺う。  
② 消雪パイプの敷設事業費は年々減額されて、平成十五年度から、一千万円と抑えて定着させるという考えなのかどうか。  
③ 今回で四回目の質問になるが平成十七年度に情報公開条例の制定を念頭においているか。  
答弁 ① 平和憲法の護持等に

ついて賛同をいただいたが、今方々から招きを受けて、全国を走り回って、平和憲法の大事さを訴え続けている。施政方針が去年と同じところがたくさんあるのは、今まで到達した水準について、今までどおり書くのは当たり前であり、それが書けるということに大きな意味がある。  
② 消雪パイプの敷設事業については、地盤沈下の恐れがあるなど、実施困難な箇所も多く、もはや市内に敷設できる場所はそれほどない。平成十七年度から消雪パイプフレッシュ事業が創設されたので一千万円を予算化している。  
③ 情報公開条例の制定については、いずれにしても、極めて慎重な検討を必要とすると考えている。

# 県立加茂病院の縮小反対など採択

三月定例会で受理した請願は七件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

## 世田がん 7件

### ▽採択したもの

☆意見書提出を求める請願

・県立加茂病院の縮小に反対し、拡充強化を求める請願（加茂病院の縮小に反対し充実を求める会代表）

・国家公務員の「地域別給与」への改悪を行わず地方財政の確立と充実を求める請願（新潟県公務員公共関連労働者共闘連絡会代表）

・「消費税の増税に反対する意見書」の提出を求める請願（加茂民主商工会代表者）

・定率減税の廃止・縮小を中止することを求める請願（日本労働組合総連合会新潟県連合会三條加茂地域協議会議長）

・地域経済の活性化などを求める請願（日本労働組合総連合会新潟県連合会三條加茂地域協議会議長）

・雇用対策と地域活性化を重視した政府予算編成を求める請願（日本労働組合総連合会新潟県連合会三條加茂地域協議会議長）

・社会保障制度の抜本改革を求める請願（日本労働組合総連合会新潟県連合会三條加茂地域協議会議長）

### 地域経済の活性化を求める意見書など8件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書八件を可決し、関係機関へ提出しました。

◎地域経済の活性化などを求める意見書

◎雇用対策と地域活性化を重視した政府予算編成を求める意見書

◎県立加茂病院の充実強化を求める意見書

◎社会保障制度の抜本改革を求める意見書

◎国家公務員の「地域別給与」への改悪を行わず地方財政の確立と充実を求める意見書

◎消費税の増税に反対する意見書

◎定率減税の廃止・縮小を中止することを求める意見書

◎自然災害被災者に対する住宅再建支援制度の確立に関する意見書

## 特別委員会中間報告

最終日の本会議で、医療問題特別委員会の中間報告が、次のとおり行われました。

本特別委員会は、平成十五年五月臨時会において、地域医療と救命救急体制の充実と高度化に関する事項の調査研究を目的に設置し、今日に至っております。

この間、加茂地域における医療環境や救命救急の現況・諸問題などについて、十五回にわたる委員会の開催のほか、資料収集と視察を行い、また加茂病院加茂医師会、患者団体との意見交換会の開催、さらには県議会

各党派への要望書提出など、慎重且つ精力的に調査研究を行ってまいりました。

こうした中で、本年一月初旬にはメディカルコントロール体制の協定が締結されましたが、加茂病院の医師の不補充や機能縮小など、本地域における医療の提供状況は、極めて多くの課題を抱えていることが浮き彫りになっていきます。

また、本年一月下旬の「県立病院改革検討会議・中間報告」は、更なる県立病院の役割の後退を予告したものであり、医療環境の充実問題は緊急の課題となっております。

医療圏域の見直し」や「県立病院問題の最終報告」など、本市にも直接影響を与える重要な提案を行うとしていきます。

こうした中、とりわけ本地域における救急医療については、不安定で困難な状況にあり、本特別委員会は、本地域に救命救急センターの設置が是非とも必要であるとの認識に立つものであります。

かかる現況を鑑みると、本特別委員会は、引き続き調査研究の必要性を痛感し、今後も必要に応じ、鋭意調査研究を続行すべきものと考えている次第であります。

## 請願の処理経過と結果

平成十六年中の議会で採択し市長に送付した請願二件について、その処理経過と結果の報告が今議会でありました。

### 消雪パイプの敷設

◎市道専照寺裏線二号六十九・五丁目水量の関係から、消雪パイプ既設路線からの接続は問題があり、今後慎重な検討と対応が必要である。

◎市道高須町駅裏線四百六十四丁目この区域は、地盤沈下等が危惧されることから、道路幅員等も考慮し、機械除雪により対応したい。



スクールバス運行 羽生 六男

3月定例会 議決状況一覧表

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決状況. Contains 9 items under '議員提出議案'.

市長提出議案

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決状況. Contains 33 items under '市長提出議案'.

4月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決状況. Contains 10 items under '市長提出議案'.

連合審査会

各委員会に付託された議案の総括質疑を行うための連合審査会が三月十一日に開かれました。

全員協議会

定例会中の三月十一日に全員協議会が開かれ、専決処分ほかについて説明を受け、質疑を行いました。

議会日誌

〈2月〉

2〜4日 医療問題特別委員会 行政視察(右手島・紫波町・江刺市)

〔視察事項〕

・県立病院の再編成について

14日

全員協議会

15〜17日

議会運営委員会行政視察(神奈川県三浦市、千葉県館山市)

〔視察事項〕

・議会運営全般について

8日

北信越議長会定期総会(長岡市)

14日

北信越議長会定期総会(新潟市)

21日

議会運営委員会臨時市議会

25日

議会運営委員会

1日

議会運営委員会

8〜24日

定例市議会

10日 三市議長会(加茂市)

8〜24日 定例市議会

議会だより編集委員会